

自分で考えて動ける子の育て方

須合 啓 朝日出版社 B クリエイティブ 2025.3

親からなんでもかんでも押しつけられて育つと、子どもは「自分で考える」機会がなくなってしまうことになる。本書の中で、著者はこのように述べています。ヒントになりそうな部分を抜粋しました。

◆ 「4つの力」が、いいコミュニケーションを生む

- ① 自分に余裕を持つ 【自分を愛する力】
- ② 相手の状況や心情を優しく感じとる 【共感力】
- ③ その場のルールや、相手と自分の立場などを理解する 【思考力】
- ④ 自分「やりたいこと」を「やるべきこと」に置き換えて
かかわっている人や組織に貢献する 【行動力】

◆ 「いい習慣」をつくる3つのヒント

- 1 「**時間管理**」の大切さを知ろう
 - ・・・ 親自身が自分と向き合う時間を作ることが大切
- 2 子供は「**これからの人**」と心得よう
 - ・・・ 不用意な「決めつけ言葉」や「価値観の押し付け」をなくすこと
- 3 「**努力**」の本当の意味を知ろう
 - ・・・ 子供の努力が身近な人のため、みんなのためにもなっているだろうか？

◆ 「正しい」はほどほどにして、「うれしい」に注目していくと、子供の自己肯定感だけでなく、人の喜びや望みを察する力、共感力も育まれる